

平成 26 年度すまいの部会報告

すまいの部会(平成 26 年 3 月～平成 26 年 6 月)

部会開催 平成 26 年 4 月 3 日、6 月 5 日

1. DVD の活用状況(平成 26 年 3 月～平成 26 年 6 月)

	相談時利用	研修等利用	個人・団体貸出	複製
障がい福祉課	0	0	2	2
春日苑	0	0	3	0
しゃきょう	1	1	0	0
かすがい	0	3	3	0
JHN まある	2	1	1	0
あっとわん	0	0	0	0
中部大学 向研究室	0	0	0	0
合計	3	5	9	2

【感想等】

- ・保健所の家族懇談会にて利用。好評だった。
- ・DVD に出ている例を表面的に捉えてしまう方がいる。例のような生活に至るまでのサービス手続き等の制度部分も今後 DVD にしていけるといい。

2 啓発グループの報告

(1) DVD 第 2 弾「施設編」の制作について検討

- ・DVD 制作は第 1 弾に引き続き中部大学齋藤ゼミと学生の協力を得て制作する。
- ・学生側の状況などが変化し、第 1 弾の時とは取り組み方を変えることになった。
 - ① 制作に携わるのは現 3 年生とする。
 - ② DVD の構成内容は啓発グループ担当者が考える。
 - ③ 5/13、5/20 の 2 回にわたり啓発グループ担当者が DVD の制作目的や障がい福祉に関する事等をゼミ学生に伝えた。
 - ④ 学生に障がいに関するイメージを持ってもらう事を目的として、施設見学を行った。
 - 6/4(水) (身体・入所施設) 春日苑 3 名見学
 - 6/9(月) (知的・通所施設) はさま、わかば 2 名見学
 - 6/12(木) (精神・通所施設) かすがいフォレスト 1 名見学

(2) 撮影・制作に関して

- ①撮影・制作のスケジュールは、中部大学の春学期(前期)中の見込みと思われる。
 - ・6/17 に齋藤ゼミに出向き、DVD の構成などを話し合った。
 - ・6 月から撮影実施中。
- ②出演依頼をする当事者の顔出しについては、今後も検討の必要があることを確認。(撮影のみ行い、後で編集をすることは可能)。
- ③ ア. 誓約書(施設見学の際の守秘義務等を記したもの)、イ. 依頼文(施設見学等)は、

事務局が作成することとする。

- ④ 撮影側から、見学時に施設の外観や施設説明の様子も撮影したいと依頼があった。
- ⑤ 今回のDVD「施設編」の撮影場所の候補について確認した。
- ⑥ 「ひとり暮らし編」の感想を参考に、障がいの状況、種別などを均等に取り上げられるようにしていく事を確認した。精神障がいに関しては春日井市内に精神障がいを対象としたグループホームが無い場合、日中の活動を中心とした撮影をすることを確認した。

3 体験グループの報告

(1) 宿泊体験

- ① 3月9日 日中の活動を実施（障がい者6名・支援者3名・親5名参加）
於スローハウス ちらし寿司作り
- ② 4月13日 日中の活動を実施（障がい者6名・支援者5名・親5名参加）
於アドハウス 焼きうどん・焼きそばとデザート作り
- ③ 5月10日 宿泊体験実施
障がい者3名 支援者1名 親3名
- ④ 5月24日 宿泊体験実施
障がい者2名 支援者1名 親2名
- ⑤ 5月31日 宿泊体験実施
障がい者2名 支援者1名 親1名

- ・宿泊の支援者は3回とも中部大学の学生。障がい者たちは喜んでいる様子だった。
- ・学生と一緒に宿泊することで、親との宿泊時にはない効果(家で調理等しない本人が「やりたい」と言うようになった等家事などに興味を持つようになった。また、新しい人とのかかわりを楽しみ、親と一緒になくても支援者と泊まれた。)が感じられる。
- ・学生の支援は「(今後)こうしてはどうか？」等の支援に関する提案もあり、しっかりしていると感じた。

(2) 体験グループ打ち合わせ

- ・宿泊体験時、支援者に記入してもらった記録の書式を作成した。
- ・突然宿泊の支援を求めるのはハードルが高いので、日中の活動に参加してもらい距離を縮めることも必要。
- ・宿泊体験が即グループホーム等につながるというわけではないが、今後も継続して進めていきたいと考えている。